

ウィズ・レター

No.77

うららかな日差しが心地よい季節になりました。
陽気に誘われて、何か新しい事を始めたくくなりますね。



サポーター・登録団体・企画講座を募集します

ウィズでは、男女共同参画の推進に関心のある方や活動をしている団体を随時募集しています。誰もが自分らしく輝いて生きていける社会、誰にとっても暮らしやすいまちづくりを一緒に考えませんか？

ウィズサポーター

- 対象 男女共同参画の推進に関心・意欲のある方
(個人・団体および男女問いません)
- 内容 年数回、講座の企画・運営への参加等
- 特典 男女共同参画に関する各種情報をお知らせします
※現在9名のサポーターの方が活動しています



ウィズ登録団体

- 対象 市内で活動を行う団体・グループまたは法人
(営利、宗教的または政治的な団体を除く)
- 特典 男女共同参画に関する各種情報をお知らせします
自主企画事業を委託事業として実施できます
交流ひろば利用特典があります
※子育てサークル、NPO法人、ボランティア団体等31の団体が登録・活動しています

企画講座

登録団体の自主企画講座を募集します。男女共同参画の視点を取り入れた講座を一緒に企画してみませんか。企画書の書き方や講座内容、予算の立て方等、ウィズと話し合いながら進めていきましょう。今年度も2団体を予定しております。なお、希望する団体が多数の場合は調整させていただきますので、ご希望の場合はお早めにご連絡ください。

《登録内容に変更はありませんか?》

新年度に入り、新しい体制で活動を開始した団体もあるかと思えます。登録内容に変更のある団体は、ウィズまでご連絡ください。

『酒田で楽しい結婚・出産・子育て応援講演会』

3月14日（土）開催 講師：尾木直樹（教育評論家）

「子どもも大人も居心地の良い家庭・地域を目指して」と題して、結婚や子育てへの関心を高めるとともに、家族の素晴らしさや地域のつながりの大切さを学ぶことを目的とした講演会を開催しました。講師の尾木さんは、長年にわたり子どもの教育に携わり、変わりゆく親子関係や、家族や地域を取り巻く様々な社会問題に向き合っています。

講演では、「子育ては胎児のころから始まっていて、おなかの中で外の音（親の声等）を聞いて育っている。2歳まではたくさん抱っこして、親子の基本的信頼感を形成した方がいい。叱るよりも安心感を与えることが子育てには大切である。」と話されました。また、少子高齢化が進む中、地域全体での子育てや介護が必要となってくることにもふれ、「女性（母親）だけが子育てや介護を担うのではなく、男性も積極的に参画しなければならない。国では、男性の育休取得を2020年まで80%以上を目指すとしているが、社会（会社）が休暇を取得しやすい環境づくりが大切である。」として、男性にとっての男女共同参画の必要性を挙げました。



『ママのリラックスヨガ&パパと子どもで作るお菓子でお茶会』

2月28日（土）開催 講師：上野 昌代さん（ヨガインストラクター）
☆企画運営☆あ〜ゆるいくじ 小松 馨さん（農的暮らし研究所）

“ママにリラックスできる時間をプレゼントしよう！”として、親子のふれあいを深める講座を開催しました。ママがヨガでリラックスしている間お父さんと子どもたちは、旬の食材使った苺のチーズケーキ作りに挑戦。ポリ袋に材料を加えて袋をもむだけといった簡単な調理法は、小さな子どもも手を汚さず楽しみながら作っていました。ママのヨガの後には、みんなでお茶会をしました。子どもたちが、母親にお菓子の作り方を一生懸命説明している姿が微笑ましく、そばで父親が優しく見守っている姿がとても印象的でした。

「いつも一緒に娘と離れて、一人でヨガをする時間は特別な時間となりました。」「娘と記念すべき初めての共同作業（お菓子作り）が出来てよかった。」という声が寄せられ、事務局としてとてもうれしかったです。（あ〜ゆるいくじ）



平成26年度 ウィズ講座『参加者の声』特集



平成27年度もウィズでは楽しく男女共同参画を学べる講座を予定しています。
みなさまの参加をお待ちしております。

6/28

『主夫、兼 住職』

～お坊さんのワーク・ライフ・バランス～
講師：小野 卓也 氏

【内容】男性の家事・育児への参画促進と
ワーク・ライフ・バランスの推進

☆心の余裕を持って、少しでもストレスの
ない日々を送っていきたいと思います。
☆男女共同参画社会を進めるために、大変
参考になりました。

9/27

ウィメンズセンター大阪共催
『もっと知りたい！女（わたし）の
カラダ in 庄内』

講師：森崎 純子 氏、上野昌代氏
市管理栄養士、ウィメンズセンター大阪

【内容】生涯を通じた女性の健康の保持増進

☆女性の気になる病気、その治療法について
詳しく知ることができよかったです。
☆女性が輝くために、物事をプラスに考えて
みるのが大切だと思いました。

7/17

『なぜ男は暴力を選ぶのか？』

～DV 加害者の実像と対策～
講師：沼崎 一郎 氏

【内容】DV の実態や対処法を学ぶ

☆とても勉強になりました。“加害者”と
いう部分がよくわかりました。
☆DV と児童虐待は表裏一体、とても参考に
なりました。

12/5.12

NPO 法人にこっと共催

『両立への不安を解消したい!!ママひろば』

講師：堀 晃子氏、先輩/パパ・ママ

【内容】産休・育休後の職場復帰に向け、
不安や悩みの解消を図る

☆男性の育児休暇の話しを聞くことができ
てよかった、もっと色々聞きたかったです。
☆託児を体験できてよかったです。

7/18

酒田調理師専門学校共催

『恋愛と暴力を間違えない方法』

～デート DV に気づく～
講師：沼崎 一郎 氏

【内容】若年層へのデート DV 知識の普及
と防止

☆相手の言いなりにならない、自分のこと
は自分で決める等、日頃から訓練すること
が大切だとわかりました。
☆恋愛では慎重に人と付き合わなければ
いけないと思いました。

2/28

あ～ゆるいくじ企画運営

『ママのリラックスヨガ&
パパと子どもで作るお菓子でお茶会』

講師：上野 昌代 氏、小松 馨氏

【内容】家事・育児等への男性の参画促進

☆ヨガが、とても気持ちよくリラックスでき
ました。手作りおやつもとてもおいしかったです。
☆娘と二人きりでスイーツづくりができた
のは、貴重な体験でした。

3/14

市民フォーラム

『子どもも大人も居心地の良い
家庭・地域を目指して』

講師：尾木 直樹 氏

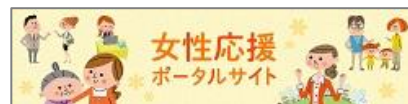
【内容】家庭や地域での男女共同参画の必要性

☆楽しく興味深いお話でした。もっとお話し
を聞いていたかったです。
☆子育て（孫育て）の参考になるお話しが満
載でした。
☆これからの子育て、プロセスをほめられる
親になろうと思います。子どもと共に成長出
来たらいいと思いました。

☆ちよこつと 男女共同参画 ☆

☆内閣府では、「女性の活躍応援ポータルサイト」のページを新設しました。
このサイトには、様々なライフステージにある女性が、そのニーズにあった支援情報（子育てや介護、仕事、地域・企業、健康など6つの項目）を得られるようになって
います。

詳しくは、内閣府 男女共同参画局HPをご覧ください。



><http://www.gender.go.jp/policy/sokushin/ouen/index.html>

☆「男女間」における暴力に関する調査（内閣府 平成26年12月実施、全国20歳以上の男女5000人対象）を実施し、結果を公表しました。“配偶者から暴行や暴言（DV）を受けたことがある”と回答した方が女性の約4人に1人（男性は6人に1人）おり、そのうち約10人に1人は何度も受けていることがわかりました。

また被害を受けた女性の約4割、男性の約8割はどこにも相談していないと回答しています。相談しなかった理由として、「相談するほどのことではないと思ったから」が最も多く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」、「相談しても無駄だと思ったから」などがあげられました。

詳しくは、「配偶者からの暴力被害者支援情報」サイト内の“女性に対する暴力に関する調査研究”をご覧ください。

>http://www.gender.go.jp/e-vaw/chousa/h11_top.html

『男性ほっとライン』（男性相談）開設のお知らせ

精神面で孤立しやすいといわれる男性に対する相談体制として、今年度より“男性だけが相談できる窓口”として『男性ほっとライン』が開設されました。男性相談員が対応します。一人で悩みを抱え込まず、ぜひご相談ください。

- 【相談方法】 電話相談
- 【電話番号】 023-646-1181（男性相談専用電話）
- 【相談日】 毎月第1・第2・第3水曜日
- 【時間】 午後7時～午後9時



酒田市男女共同参画推進センター ウィズ

開館 月～土／9:00～22:00、日・祝／9:00～17:00
相談 月～金／9:00～16:00

〒998-0044 酒田市中町三丁目4-5 交流ひろば内
Tel／0234（26）5616 Fax／0234（26）5617
E-mail／with@city.sakata.lg.jp

